関門海峡を、太陽の力で巡る。
下関市でソーラーモビリティの無料体験を実施中

16 歳以上・免許不要。観光地の移動をもっと身近に。太陽光で走る技術から、地域の「もしも」に備える電源技術へ。

株式会社 HelioX（本社：東京都豊島区、代表取締役：ハン・ビン）は、山口県下関市が実施する太陽光エネルギーを活用したマイクロモビリティの実証事業に参画し、太陽光発電機能を備えた車両による無料の周遊体験を 2027 年 3 月末まで実施予定です。

貸出・返却の拠点は、下関市役所横のカフェ「TAGLINE（タグライン）」。16 歳以上であれば運転免許不要で、赤間神宮から下関駅周辺までの指定エリアを巡ることができます。

下関市ホームページと下関市公式観光サイトでも、2026 年 10 月 29 日に本取り組みが案内されています。



海峡沿いの「歩くには少し遠い」を、行ける距離に。

下関市の唐戸周辺には、関門海峡の景観に加え、歴史ある街並みや飲食店、観光スポットが点在しています。一つ一つを歩いて巡る時間は旅の楽しみですが、少し離れた場所まで足を延ばそうとすると、移動が負担になることもあります。

今回の無料体験は、車を使うほどではない短い距離を、気軽につなぐ新しい選択肢です。立ち寄る場所を自分で決め、途中で見つけた風景や店も楽しむ。「目的地までの移動」が、そのまま旅の一部になる体験を提案します。

太陽光で充電。地域で続けられる運営のかたちを探る。

貸出車両には太陽光パネルを搭載。日照条件に応じて、走行中や駐車中に得られる電力をバッテリーの充電に活用します。充電作業は基本不要で、運営コストを大幅に抑えられることができ、車両を複数台運用する地域サービスにとって重要な特徴です。

HelioX はこれに IoT を活用した車両管理を組み合わせ、車両の状態把握や運用業務の効率化に取り組んでいます。下関市の実証では、地域施設を貸出拠点とする運営とともに、利用状況や参加者の声を踏まえ、無理なく継続できる仕組みを検討していきます。

※太陽光による充電量は天候・日射条件・走行環境等によって変わります。外部からの充電が不要になることを保証するものではありません。

いつもの移動が、もしもの備えにも。

災害時の課題は、大きな非常用電源の確保だけではありません。避難場所や現地拠点の間を移動する手段に加え、スマートフォンや照明など小型機器を使い続けるための電力も必要です。

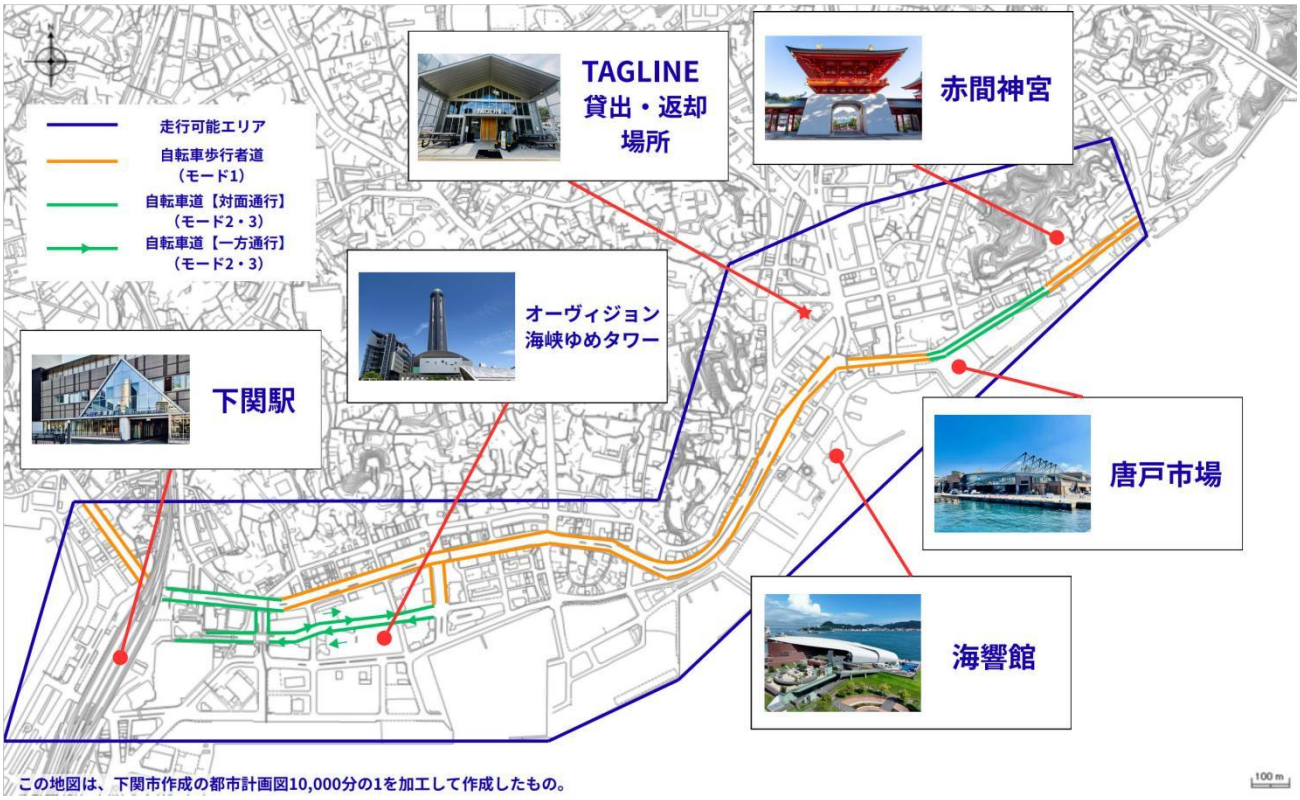
HelioX は、平常時には人の移動を支え、非常時には持ち運べる小さな電源にもなる「フェーズフリー」のモビリティ開発を進めています。2026 年 8 月には、最大 60W（USB-PD 対応）の外部給電機能を備えた太陽光発電搭載「Solar E-Bike」の試作機を発表しました。

今回、下関市で無料貸出を行っている車両は、上記 Solar E-Bike とは別のモデルです。下関市での無料体験には、外部機器への給電サービスは含まれません。今後、車両の用途に応じた防災活用の可能性も検討していきます。

無料体験のご案内

体験期間	2027 年 3 月末まで（予定）
貸出・返却場所	TAGLINE（山口県下関市南部町 1-1／下関市役所横）
利用可能時間	8:00〜17:30（17:30 までに返却）
休業日	定休日なし（月 1 回不定休）
貸出料金	無料
デポジット	1,000 円（現金のみ。車両等返却後に返金）
対象	16 歳以上（運転免許不要）
走行可能エリア	赤間神宮〜下関駅周辺の指定エリア

※体験期間は下関市公式観光サイトの案内に基づきます。最新の利用条件・走行可能エリアは下関市の公式情報と現地受付でご確認ください。



利用方法・ご利用にあたってのお願い

【お持ちいただくもの】

スマートフォン（専用アプリ用）、デポジット 1,000 円（現金）、年齢確認ができる本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証など）。

【ご利用の流れ】

①TAGLINE で受付・デポジット預かり

②専用アプリをダウンロードしユーザー登録・年齢確認（初回のみ）

③指定エリア内で体験

④17:30 までに TAGLINE へ車両とヘルメットを返却

⑤デポジット返金。アンケートへのご協力もお願いします。

【安全上のお願い】

交通ルールを守り、歩行者や周囲の車両に十分注意して走行してください。

指定の走行可能エリアやおすすめルートは貸出時にご確認ください。歩道の走行は法令上認められた条件・場所に限られます。

暮らしと観光の接点から、地域の次の移動へ。

下関市の取り組みでは、既存の街の拠点で車両を受け渡し、実際に使っていただきながら運営の課題を確かめています。利用者にとって使いやすいこと、現地の事業者にとって管理しやすいこと、必要な時に役立つ技術へ育てていくこと。その一つ一つの積み重ねが、地域の移動手段の選択肢を増やすと考えています。

下関市は、実証から得られる知見を、観光、生活圏の近距離移動、施設内利用など、地域ごとの条件に合った持続可能な地域づくりに生かしていきたいと考えています。

公式案内・関連情報

下関市ホームページ（2026 年 10 月 29 日更新）
https://www.city.shimonoseki.lg.jp/soshiki/63/165148.html

下関市公式観光サイト（2026 年 10 月 29 日掲載）
https://shimonoseki.travel/post-7022/

Solar E-Bike（防災電源対応試作機）の発表資料［別モデル・背景技術情報］
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000152367.html

株式会社 HelioX について

株式会社 HelioX は、太陽光発電搭載モビリティとエネルギー制御技術、IoT による車両管理を組み合わせ、観光、地域交通、施設内移動、防災などの分野で持続可能な移動の仕組みづくりに取り組む企業です。

社名：株式会社 HelioX　｜　設立：2024 年 11 月
本社：東京都豊島区南池袋 2 丁目 47-7-8F　｜　Web：https://www.heliox-mobi.com/

報道関係者のお問い合わせ先

株式会社 HelioX　広報担当　｜　E-mail：contact@heliox-mobi.com　｜　TEL：03-6820-2878
※現地取材・撮影については、現地の運営状況と関係者の意向を確認のうえ調整いたします。